

《キーワード》 保存修復、歯内治療、歯周治療

《担当者名》 斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一

【概要】

保存治療学は、歯の硬組織及び歯周組織の疾患を予防・診断・治療し、形態・機能を回復して口腔の機能と健康を維持増進させることを究める学問であり、保存修復学、歯内治療学、歯周病学で構成されている。

本科目の目標は、保存治療学における基礎研究・臨床研究の実践に必要な知識と技術を身に付けるとも保存治療専門医の資格取得をめざし、講義・実習によって、う蝕をはじめとする歯の硬組織疾患、歯髄・根尖部歯周組織疾患及び辺縁性歯周疾患に対する検査、予防、診断、治療、メンテナンス法についての理解を深め、さらに、床実習によって個々の症例に応じた的確な保存治療の実践のために必要な知識と技術を修得することである。

【学修目標】

1. う蝕及びその他の硬組織疾患、歯髄・根尖性歯周疾患、歯周病の成因を説明できる。
2. う蝕及びその他の硬組織疾患、歯髄・根尖性歯周疾患、歯周病の検査法・診断法を理解し、実践できる。
3. Minimal Intervention (MI)の概念を説明できる。
4. う蝕及びその他の硬組織疾患、歯髄・根尖性歯周疾患、歯周病の予防法を理解し、症例に応じて実践できる。
5. う蝕及びその他の硬組織疾患、歯髄・根尖性歯周疾患、歯周病の治療法・メンテナンス法を理解し、症例に応じて実践できる。
6. 保存修復学関連の基礎研究・臨床研究に用いられる手技を理解し、実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	う蝕及びその他の硬組織疾患、歯髄・根尖性歯周疾患、歯周病の成因、検査法・診断法		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
2	Minimal Intervention (MI)の概念		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
3	in vitro 研究の実際と用いられる分析方法		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
4	in vivo 研究の実際と用いられる分析方法		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
5	学会発表・論文作成		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
6	抄読会の開催		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
7	臨床検討会の開催		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
8	学外講師によるセミナーの開催		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
9	学会参加		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
10	抜去歯及び模型を用いた保存治療実習		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一
11	担当患者への保存治療の実践		斎藤 隆史 川上 智史 伊藤 修一

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、提出物、臨床症例

**【教科書】**

授業中に指示する。

**【参考書】**

授業中に指示する。

**【備考】**

専門医取得に必要な症例数の半数以上があること。

**【学修の準備】**

提示した到達目標に合わせて、関連資料の収集・文献講読をしておくこと。